

令和8年度 公開講座（短期課程）

コース No.	1 - 07		
コース名	人の役割を変える DX 時代の現場カイゼン実践セミナー (6) 生産改善の進め方		
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	講 師	山口俊憲 (産業用ロボット特別教育インストラクター)
実施 日 時	① 令和9年1月13日(水)	18:00~21:00	
	② 令和9年1月20日(水)	18:00~21:00	
	③ 令和9年1月27日(水)	18:00~21:00	
	④ 令和9年2月3日(水)	18:00~21:00	
	⑤ 令和9年2月10日(水)	18:00~21:00	
	⑥ 令和9年2月24日(水)	18:00~21:00 (計18時間)	
募集定員	6人(最大10名程度)(最少実施人数2人)		
募 集 対 象	対象職種: 不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)		
	受講に必要なレベル: 不問(受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施)		
目 標	現場改善の中心的役割を果たすリーダーとなること、あるいはリーダーをサポートするきっかけとなる。		
講 座 内 容	<p>人口減少する変化・変動社会では、今持つスキルとは異なるスキルを追加し続けることが求められています。また、現場の生産性・品質・安全性向上には、中心的な役割を果たす改善リーダーと改善の必要性を理解したリーダーをサポートする現場作業員が必要となります。</p> <p>本講座では、変化・変動の社会に対応した改善リーダーと改善の必要性を理解した作業員の育成(技術者や作業員の多職種化)を目的に必要な知識(生産管理などの管理技術、コミュニケーションなどのノンテクニカルスキル)の習得を目指します。改善の進め方の説明に際し、担当講師が実際に取組んだ改善事例等(中災防『安全と健康』2020年連載)、人材育成の事例(IE協会『IEレビュー』326・336号、日刊工業新聞社『工場管理』2026年3月号)を中心に紹介します。</p>		
他のコースとの関連性	この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「工程分析・改善」、「動作解析・改善」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。		
履 修 項 目	①VUCA時代となった現代社会とモノづくり		(2時間)
	②中小企業の特徴に基づく現場改善の目的		(1時間)
	③現場改善に取り組む人材育成アプローチ(多職種技術者とは)		(3時間)
	④改善を進めうる際の基盤となる考え方		(3時間)
	⑤課題解決型アプローチと設計型アプローチ		(3時間)
	⑥現場改善の進め方と改善事例紹介		(6時間)
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし		
必 要 な 持 ち 物	筆記用具		
受 講 費 用	受講料: 7,800円(18時間コース)		
	自己負担: なし		
留 意 事 項 等	6つの講座からなる「人の役割を変える DX 時代の現場カイゼン実践セミナー」は地域企業を中心に現場改善に取り組む一人の教員が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので講座一つでも 受講可能 です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。		